

がん化学療法指示書

登録番号 144

作成日 2014/12/15

レジメン名	XELIRI+Bmab療法
診療科・対象疾患	(外)進行・再発大腸がん
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	PDになるまで

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
ゼローダ	カペシタピン	1600mg/m ²	Day1-14
ペバシズマブBS	ペバシズマブBS	7.5mg/kg	Day1
イリノテカン	イリノテカン	200mg/m ²	Day1

治療内容	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール					
							day1				day21	
注射	Rp1		生理食塩液	100mL		ルート確保・フラッシュ用	●					
	Rp2		パロノセトロン(0.75mg)	1袋	15分	点滴静注メイン	●					
			デキサート(6.6mg)	1瓶								
			アトロピン(0.5mg)	1本								
	Rp3	癌	ペバシズマブBS	7.5mg/kg	90分 ※1	点滴静注メイン	●					
			生理食塩液	100mL		総量100mLにする						
	Rp4		生理食塩液	50mL	45分 ※2	点滴静注メイン	●					
						フラッシュ用 (アバステンと同じ投与速度で投与)						
	Rp5	癌	イリノテカン	200mg/m ² ※3	90分	点滴静注メイン	●					
			5%大塚糖液	250mL								
内服			ゼローダ(カペシタピン): 朝、夕食後30分以内に1日2回内服(day1~day14) day1 夕食後から内服開始									
その他必要薬剤	イメンド(アプレピタント)125mg: 1cap分1 ルートキープ時に内服(day1) イメンド(アプレピタント)80mg: 1cap分1 朝食後に内服(day2,3) デカドロン(デキサメタゾン)4mg: 2錠分2 朝夕食後に内服(day2~4)											
総投与時間	初回: 4時間、2回目(忍容性良好の場合): 3時間15分、3回目以降(忍容性良好の場合): 2時間30分											
血管外漏出リスク	ペバシズマブBS: 非壊死性抗がん剤 イリノテカン: 炎症性抗がん剤											
投与時の注意事項	※1…ペバシズマブBSの投与速度…初回投与の忍容性が良好であれば2回目の投与時間は60分、3回目以降は30分まで短縮できる。 ※2…ペバシズマブBSと同じ投与速度で点滴を行う。											
備考欄	【ゼローダ(カペシタピン)投与量(1回量)】 体表面積1.31m ² 未満・・900mg 体表面積1.31m ² -1.69m ² ・・1200mg 体表面積1.69m ² -2.07m ² ・・1500mg 体表面積2.07m ² 以上・・1800mg ※3…イリノテカンは、UGT1A1*6、*28のホモ接合体またはダブルヘテロの場合、150mg/m ² で投与する。											